

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公表番号】特表 2003-500726 (P2003-500726A)
 【公表日】平成 15 年 1 月 7 日 (2003.1.7)
 【出願番号】特願 2000-620452 (P2000-620452)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 9/62 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 9/62 G

G 0 6 T 1/00 4 0 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 9 日 (2007.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 手書きメモ作成及び検索を可能にする方法であって、表示面上に出力可能な少なくとも 1 つのフォームをユーザに提供する段階であって、前記フォームは、メモ帳アクティビティに関する情報を含み、フォームの識別及びフォームの少なくとも 1 つの基準点を示す符号化データを含む前記段階と、

コンピュータシステムにおいて、前記ユーザによって操作される検出デバイスから表示データを受信する段階であって、前記表示データは、フォームの識別及びフォームを基準とする検出デバイスの位置に関し、前記検出デバイスは、フォームを基準とする操作位置に配置された時、少なくともいくつかの前記符号化データを用いて、前記表示データを検出する前記段階と、

コンピュータシステムにおいて、また前記表示データから、メモ帳アクティビティに関する少なくとも 1 つのパラメータを識別する段階と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の方法であって、前記メモ帳アクティビティに関する前記少なくとも 1 つのパラメータは、前記フォームの少なくとも 1 つの領域と関連付けられており、また前記方法は、コンピュータシステムにおいて、また前記検出デバイスが配置されている領域を基準とする領域から、前記少なくとも 1 つのパラメータを識別する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の方法であって、

コンピュータシステムにおいて検出デバイスの前記フォームを基準とする動きに関するデータを受信する段階であって、前記検出デバイスは、前記フォームを基準として、少なくともいくつかの前記符号化データを用いてその動きを検出する前記段階と、

コンピュータシステムにおいて、また少なくとも部分的に前記少なくとも 1 つの領域内の前記動きから、メモ帳アクティビティの前記少なくとも 1 つのパラメータを識別する段階と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 4】 手書きメモ作成及び検索を可能にする方法であって、

ユーザに、表示面上に出力可能な少なくとも 1 つのフォームを提供する段階であって、前記フォームは、メモ帳アクティビティに関する情報を含み、またメモ帳アクティビティの少なくとも 1 つのパラメータを示す符号化データを含む前記段階と、

コンピュータシステムにおいて、前記ユーザによって操作される検出デバイスから、前

記少なくとも1つのパラメータ及び前記フォームを基準とする検出デバイスの動きに関するデータを受信する段階であって、前記検出デバイスは、前記フォームを基準として移動した時、少なくともいくつかの前記符号化データを用いて、前記少なくとも1つのパラメータに関するデータを検出し、前記フォームを基準とするそれ自身の動きに関するデータを生成する前記段階と、

コンピュータシステムにおいて、検出デバイスの前記動きを、それが前記少なくとも1つのパラメータに関するものであると解釈する段階と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項5】 手書きメモ作成及び検索を可能にするための方法であって、

ユーザに、前記フォームの識別を示す符号化データを含むフォームを提供する段階と、コンピュータシステムにおいて、検出デバイスから前記ユーザの識別に関する、また前記フォームの識別に関するデータを受信する段階であって、前記検出デバイスは、前記ユーザの識別に関するデータを含み、また少なくともいくつかの前記符号化データを用いて前記フォームの識別に関するデータを検出する前記段階と、

コンピュータシステムにおいて、また前記ユーザの識別及び前記フォームの識別に関する前記データから、メモ帳アクティビティを識別する段階と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項6】 請求項5に記載の方法であって、前記方法は、コンピュータシステムにおいて、検出デバイスから前記フォームを基準とする前記検出デバイスの動きに関するデータを受信する段階であって、前記検出デバイスは、前記フォームを基準とするそれ自身の動きに関するデータを生成する前記段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項7】 請求項2、4又は6に記載の方法であって、前記パラメータはメモ帳アクティビティのアクションパラメータであり、前記方法は、コンピュータシステムにおいて、前記アクションパラメータに関する操作を実行する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項8】 請求項2、4又は6に記載の方法であって、前記パラメータはメモ帳アクティビティのオプションパラメータであり、前記方法は、コンピュータシステムにおいて、ユーザが検出デバイスによって手書きマークを入力したことを識別し、前記コンピュータシステムにおいて前記オプションパラメータに関連付けられた操作を実行する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項9】 請求項2、4又は6に記載の方法であって、前記パラメータはメモ帳アクティビティの文字パラメータであり、前記方法は、コンピュータシステムにおいて、ユーザが検出デバイスによって手書き文字データを入力したことを識別し、前記コンピュータシステムにおいて前記文字パラメータに関連付けられた操作を実行する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項10】 請求項9に記載の方法であって、コンピュータシステムにおいて、前記手書き文字データをコンピュータ文字に変換する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項11】 請求項2、4又は6に記載の方法であって、前記パラメータは、メモ帳アクティビティの許可パラメータであり、前記方法は、コンピュータシステムにおいて、ユーザが検出デバイスによって手書きの署名を入力したことを識別し、前記コンピュータシステムにおいて前記許可パラメータに関連付けられた操作を実行する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項12】 請求項11に記載の方法であって、コンピュータシステムにおいて、前記署名はユーザのものであることを検証する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項13】 請求項11に記載の方法であって、前記署名は許可された読者のものであることを検証する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項14】 請求項2、4又は6に記載の方法であって、前記パラメータは、メモ帳アクティビティのグラフィックパラメータであり、前記方法は、コンピュータシステムにおいて、ユーザが検出デバイスによって手書きのグラフィック情報を入力したことを識別し、前記コンピュータシステムにおいて前記グラフィックパラメータに関連付けられた操作を実行する段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項 15】 請求項 2、4 又は 6 に記載の方法で表示面は紙のページであり、前記方法は前記ページを要求に応じて出力する段階を含むことを特徴とする方法。